

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
51311	農業集落排水処理施設維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	2
51311	管渠改良事業	公営企業局	下水道管理課	3
51311	他事業関連改築事業	公営企業局	下水道管理課	4
51311	既設管維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	5
51311	マンホールポンプ等管理事業	公営企業局	下水道管理課	6
51311	下水道台帳整備事業	公営企業局	下水道管理課	7
51321	普及啓発事業(下水道管理課分)	公営企業局	下水道管理課	8

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6554	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二	担当	富野 浩司	

1.事業概要【Plan】

事業名	農業集落排水処理施設維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-	
施策	下水道等の整備			-	-	-	-	
主な取組	下水道の管理・更新		根拠法令	松山市農業集落排水処理施設管理条例				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化							
目的・背景	農業集落における、農業用の用排水の水質汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環、水環境を形成するため、農業集落排水処理施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。							
対象・内容	大浦地区(農業集落排水処理施設)の管渠等の維持管理を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	農業集落排水事業費用	項	営業費用	目	管渠費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		433
予算(千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算(千円)	事業費計	0	433			主な取組内容【R5】	人孔蓋取替工事を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源		433						
	(執行率)	0%	108%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項	現場状況(老朽化の進捗など)の変化により、予算額を越えることになった。		
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	管理する管渠延長	目標	-	1,945	1,945	1,945	新規の管渠敷設なし。		
		実績	1,945	1,945					
	現状維持	m	達成率	-	100.0%				
成果指標	管理施設に起因する事故件数	目標	-	0	0	0	適切な維持管理を行うことで、事故の未然防止につながった。		
		実績	0	0					
	現状維持	件	達成率	-	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予防保全対策として事業を実施し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	農業集落排水処理施設に起因する事故等で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	計画・工事担当	連絡先	948-6956	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	田中 宏幸	担当	高岡 英文	加藤 拓朗

1.事業概要【Plan】

事業名	51311 管渠改良事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		○	○	○	-	
施策	下水道等の整備		根拠法令				
主な取組	下水道の管理・更新	第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	昭和60年代から平成初期に集中的な整備を行った管渠が将来、一斉に更新時期を迎えるため適切な管理が求められている。また、地震で下水道機能が停止した場合、汚水の流出やトイレの使用不可など、市民生活・社会活動に甚大な影響を及ぼす。そこで、今後とも、適切に下水道施設を管理することで施設の機能維持や事故の未然防止を図り、将来にわたり下水道が安全で安心して利用できるようにする。また、管渠の耐震化を進め、下水道管の破損による交通障害の発生なども防止する。						
対象・内容	老朽化していく下水道管渠等に対し管内調査を実施し、損傷度の判定を行い改築更新の工事を実施する。また、重要な路線のうち、平成9年度以前の耐震基準で整備された管渠について調査診断を行い、結果に応じた耐震化の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	目	管渠費 管渠改良費	
予算 (千円)	事業費計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な経費(千円) 【R5決算】	工事請負費		303,997	
	国費・県費	767,043	784,527	495,262			主な取組内容【R5】	公共下水道管渠耐震化実施設計業務に伴う委託料ほか	126,172
	市債	124,945	273,641	117,105					
	その他	424,200	321,900	166,900					
	一般財源	217,898	188,986	211,257					
執行率	57%	55%							
決算 (千円)	事業費計	439,343	430,938		主な取組内容【R5】	下水道管の老朽化対策としての長寿命化工事や地震対策としての耐震化工事などを行った。			
	国費・県費	77,939	118,590						
	市債	238,300	208,220						
	その他	179	18,505						
	一般財源	122,925	85,623						
人役	正規職員	3.7	3.7	3.2	特記事項	164,740千円は翌年度へ繰り越し			
	その他			0.1					
	合計	3.7	3.7	3.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	長寿命化済延長	目標	39.0	41.3	43.6	48.2	ストックマネジメント計画等に基づき概ね目標通りに改築更新工事が実施できた。	
		実績	38.4	40.0				
	累計で増	km	達成率	98.5%	96.9%			
成果指標	耐震化済延長	目標	74.8	75.3	75.8	76.8	下水道総合地震対策計画等に基づき概ね目標通りに耐震化工事が実施できた。	
		実績	74.6	80.9				
	累計で増	km	達成率	99.7%	107.4%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	計画に基づき工事を実施した結果、下水道管の老朽化対策及び地震対策についての目標値を概ね達成することができたため。						
課題	下水道管の改築更新、耐震化ともに多くの費用と時間がかかる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	将来にわたり、下水道施設の機能を維持するため、各種計画(下水道総合地震対策計画、ストックマネジメント計画等)に基づき、事業を実施しているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当 計画・工事担当	連絡先	948-6554 948-6956	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二 田中 宏幸	担当	富野 浩司	高岡 英文

1.事業概要【Plan】

事業名	他事業関連改築事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51311								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-		
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項 第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	下水道施設の長寿命化							
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、マンホール鉄蓋等の適切な維持管理を行うことを目的とする。							
対象・内容	国、県、市が道路改良事業等を行う際、老朽化したマンホール鉄蓋を同時に交換する。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円) 【R5決算】	工事請負費		127,595	
予算(千円)	事業費計	275,668	330,997	303,481				JR松山駅周辺整備事業に伴う減耗費相当分の負担金 ほか		56,136
	国費・県費								修繕費	
	市債									
	その他	46,000	88,264	3,787						
	一般財源	229,668	242,733	299,694						
決算(千円)	事業費計	114,654	205,272			主な取組内容【R5】	国・県・市の道路事業に伴う下水道マンホール蓋取替及び高さ調整を行った。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	30,766	106,541							
	一般財源	83,888	98,731							
(執行率)	42%	62%								
人役	正規職員	3.4	3.4	5.0		特記事項	56,001千円は翌年度へ繰り越し			
	その他	0.1	0.1	0.2						
	合計	3.5	3.5	5.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	鉄蓋交換枚数		目標	-	500	500	500	道路改良事業等の減少による。
			実績	540	250			
	単年で増	枚	達成率	-	50.0%			
成果指標	老朽化した鉄蓋に起因する事故件数		目標	-	0	0	0	適切に鉄蓋の更新を行うことで、事故の未然防止につながった。
			実績	0	0			
	現状維持	件	達成率	-	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	時機を逸することなく鉄蓋を交換し、適切な維持管理を行うことができた。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	老朽化した鉄蓋が原因で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二	担当	宮内 太一	

1.事業概要【Plan】

事業名	既設管維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-	
施策	下水道等の整備			-	-	-	-	
主な取組	下水道の管理・更新		根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項 第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化							
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、下水道管渠など、下水道施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。							
対象・内容	下水道施設の点検、調査を行い、危険な箇所や破損施設の修繕、管渠の清掃を行う。 下水道管渠の詰まりが多い箇所については、定期的に管内洗浄を行う。							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	目	管渠費 管渠改良費	
							営業費用 下水道建設改良費		
予算 (千円)	事業費計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な経費 (千円) 【R5 決算】	下水道管渠施設点検・ 調査業務に伴う委託料 ほか		81,980	
	国費・県費	144,232	191,483	207,535				修繕費	38,812
	市債	7,674	35,000	35,000					
	その他								
	一般財源	136,558	156,483	172,535					
決算 (千円)	事業費計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な取組 内容 【R5】	管渠や樹の補修を行った。			
	国費・県費	102,594	132,286						
	市債	11,328	15,345						
	その他								
	一般財源	91,266	116,941						
(執行率)	71%	69%							
人役	正規職員	3.3	3.4	4.1	特記 事項	47,000千円は翌年度へ繰り越し			
	その他	1.6	1.6	1.9					
	合計	4.9	5.0	6.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	定期点検・清掃箇所数	目標	-	47	47	47	概ね予定通り、点検・清掃を実施することができた。	
		実績	38	42				
	単年で増	件	達成率	-	89.4%			
成果 指標	詰まり件数	目標	-	0	0	0	適切な維持管理を行うことで、事故の未然防止につながった。	
		実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	-	100.0%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予防保全対策として事業を実施し、適切な維持管理を行うことができた。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	下水道管渠の詰まりが原因で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二	担当	高岡 慎太郎

1.事業概要【Plan】

事業名	マンホールポンプ等管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項 松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、マンホールポンプ等の適切な維持管理を行うことを目的とする。						
対象・内容	市内に点在するマンホールポンプ32箇所、濾過スクリーン3箇所及びゲート2箇所の維持管理業務を行う。						

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費		
予算 (千円)	事業費計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費			6,545		
	国費・県費	26,215	34,903	43,192					マンホールポンプ等点検 管理に伴う委託料ほか	6,494	
	市債									光熱水費	3,524
	その他										
	一般財源	26,215	34,903	43,192							
決算 (千円)	事業費計	16,455	19,924		主な取組 内容 【R5】	下水道処理区域内に点在するマンホール ポンプ等を適正に管理した。					
	国費・県費										
	市債										
	その他										
	一般財源	16,455	19,924								
(執行率)	63%	57%									
人役	正規職員	0.6	0.7	1.3	特記 事項	11,200千円は翌年度へ繰り越し					
	その他	0.1	0.1	0.2							
	合計	0.7	0.8	1.5							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	管理施設数	目標	—	37	37	37	新規のマンホールポンプ等の整備は なかった。		
		実績	37	37					
	単年で増	件	達成率	—	100.0%				
成果 指標	管理施設に起因する 事故件数	目標	—	0	0	0	適切な維持管理を行うことで、事故の 未然防止につながった。		
		実績	0	0					
	現状維持	件	達成率	—	100.0%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	マンホールポンプ等の定期点検、特別点検及び緊急時の初動対応を業務委託し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	マンホールポンプ等の故障が原因で、 市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、 引き続き事業を実施する。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二	担当	高岡 慎太郎	

1.事業概要【Plan】

事業名	下水道台帳整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	下水道等の整備		-	-	-	-	
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第23条				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	下水道法に基づき下水道台帳を整備し、効果的かつ効率的な下水道施設の維持管理を行うことを目的としている。						
対象・内容	市民や事業者から、管渠や公共柵などの下水道施設に関する問い合わせがあった際に、下水道台帳を確認し管渠の口径や材質、管底高などの施設の概要を回答する。 公共事業や民間の開発事業で新しく整備された下水道施設の情報を、定期的に下水道台帳システムへ入力する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用	項	営業費用	目	総係費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	24,427	40,318	39,584		主な経費 (千円) 【R5決算】	下水道台帳入力業務に伴う委託料ほか		35,077
	国費・県費						地理情報システム再構築事業に伴う賃借料		5,029
	市債								
	その他	3,807	3,625	3,787					
	一般財源	20,620	36,693	35,797					
決算 (千円)	事業費計	23,898	40,106			主な取組内容 【R5】	下水道台帳を整備した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	5,172	4,914						
	一般財源	18,726	35,192						
	(執行率)	98%	99%						
人役	正規職員	0.5	0.7	0.8		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.2					
	合計	0.6	0.8	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	管きょ入力延長	目標	-	42	42	42	面整備等事業量が増加したため。	
		実績	50.6	46.1				
	単年で増	km	達成率	-	109.8%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	下水道施設の情報を定期的にシステムへ入力することで、効率的な維持管理に繋がった。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	効率的な下水道施設の維持管理に加え、下水道台帳の閲覧者に対するサービス向上に繋がっているため、引き続き事業を実施する。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6554	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	小川 安博	リーダー	永井 信二	担当	新居 拓也	

1.事業概要【Plan】

事業名	普及啓発事業(下水道管理課分)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる							
施策	下水道等の整備			-	-	-	-	
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法第10条・第11条、松山市下水道条例第3条、松山市下水道事業経営戦略				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	下水道整備の拡大によって影響がある市民等に対し、工事の計画や排水設備の設置等に関する説明会を開催することで、早期接続の理解と協力を求め、水洗化率の向上を図ることを目的とする。 また、供用開始後、法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない建物所有者に対し、戸別の訪問勧奨や郵送勧奨を実施することで、法令順守はもとより、他の下水道利用者との公平性の確保や下水道事業経営の健全化につなげる。							
対象・内容	下水道整備の拡大によって影響がある市民等に対し、説明会の案内文書や法令に定める下水道の供用開始文書を配布する。 また、公益社団法人松山市シルバー人材センターに委託し、法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない建物所有者に対し、戸別の訪問勧奨を実施する。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用	項	営業費用	目	業務費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	4,332	4,181	4,412			主な経費【R5決算】	公共下水道接続推進事業業務に伴う委託料	2,230
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,332	4,181	4,412					
決算 (千円)	事業費計	3,381	3,135				主な取組内容【R5】	戸別の訪問勧奨や郵送勧奨を実施した。	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,381	3,135						
	(執行率)	78%	75%						
人役	正規職員	1.4	1.0	1.0			特記事項		
	その他	0.6		0.2					
	合計	2.0	1.0	1.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	未接続家屋への訪問勧奨件数	目標	-	2,000	2,000	2,000	令和5年度は契約内容の見直しに伴い、例年よりも勧奨を開始する時期が遅れたため、目標の達成には至らなかった。	
		実績	2,517	1,556				
	単年で増	件	達成率	-	77.8%			
成果指標	水洗化率	目標	93.0	93.0	93.0	93.0	前年度よりも水洗化率が向上し、概ね目標を達成することができた。	
		実績	92.6	92.8				
	累計で増	%	達成率	99.6%	99.8%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	説明会の開催や戸別の訪問勧奨等を実施したことで、下水道事業への理解が深まり水洗化率の向上に寄与することができたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	下水道事業への理解を深め、水洗化率の向上を図るため、引き続き事業を実施する。	